

氏名	石岡俊之	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	作業療法学 行動神経科学				
学位	博士(障害科学)				
学歴	2006年東北大学大学院医学系研究科 障害科学専攻博士前期課程修了, 2009年同後期課程修了				
経歴	2009年埼玉県立大学講師, 2016年埼玉県立大学准教授				
所属学会(役職)	Society of Neuroscience, 日本神経科学学会, 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本作業療法士協会, 認知神経科学学会, 埼玉県作業療法士会, 作業療法神経科学研究会(会長)				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	作業療法学OSCE基準マニュアル第1版	共著	特定非営利法人理学療法・作業療法共用試験機構. A4版 全140頁	臨床技能教育ワーキンググループ(OT班)編集. 著者全9名	2018.10
(2) 論文					
1	足圧中心解析による片手でズボン上げる工程の立位姿勢安定性—脳卒中片麻痺者と健常者の比較—	共著	日本臨床作業療法研究. 5, pp.34-40	鳥居誠志, 石岡俊之, 小池祐士, 濱口豊太, 中村裕美	2018.6
2	Defining visual illusions in Parkinson's disease: Kinetopsia and object misidentification illusions	共著	Parkinsonism Relat Disord. 55, pp.111-116	Nishio Y, Yokoi K, Hirayama K, Ishioka T, Hosokai Y, Gang M, Uchiyama M, Baba T, Suzuki K, Takeda A, Mori E	2018.1
(3) 学会発表					
「シンポジウム」					
1	心身機能の回復に対する新たなアプローチに向けて: 作業療法・認知神経科学・臨床心理学の接点	共著	日本心理学会第82回大会(仙台)	[企画代表者, 司会者] 吉川左紀子, [企画者, 話題提供者, 司会者] 伊藤文人, [話題提供者] 澤村大輔, 吉田一生, 石岡俊之, [指定討論者] 乾敏郎, 岩宮恵子	2018.9
「国際学会発表」					
1	Comparisons of depressive symptom and attention bias between remarkable damaged and undamaged emotional motor system in patients with stroke	共著	The 18th Congress of the Asian College of Psychosomatic Medicine (Seoul)	○Takizawa K, Koizumi K, Tayama J, Ishioka T, Hamaguchi T	2018.8
2	Changes in Psychosomatic Aspects following Attention Bias Modification combined with Cognitive Behavior Therapy in patients with Hematopoietic Tumor	共著	The 18th Congress of the Asian College of Psychosomatic Medicine (Seoul)	○Koizumi K, Hamaguchi T, Tayama J, Takizawa K, Ishioka T, Makita S	2018.8
3	Standing Postural Stability during Pulling up Trousers in Clients with Hemiplegia	共著	The 11th Pan Pacific Conference on Rehabilitation (Hong Kong)	Nakamura-Thomas H, Torii S, Ishioka T, Koike Y, Hamaguchi T	2018.11
4	A Pilot Study of Intervention with Vibration and Visual Observation Towards Patients with Distal Radial Fractures and Surgeries	共著	The 11th Pan Pacific Conference on Rehabilitation (Hong Kong)	○Narita D, Suzuki T, Ishioka T, Hamaguchi T, Nakamura-Thomas H	2018.11
「国内学会発表」					
5	Action Observation Therapyは健常成人の手関節自動運動可動域に影響を与えるか?	共著	第30回日本ハンドセラピー学会(東京)	○薄木健吾, 石岡俊之, 成瀬康治, 鈴木誠, 濱口豊太	2018.4
6	作業療法士のENDCOREsを用いたコミュニケーションスキルの主観的評価と臨床でのポライトネス・ストラテジーの実施状況との関係性	共著	第4回作業療法神経科学研究会学術集会(札幌)	○池上真里菜, 石岡俊之	2018.6

7	急性大動脈解離症例の術後2年間の心理的経過と社会生活の変化 —インタビュー調査—	共著	第52回日本作業療法学会(名古屋)	○丸山朋美, 中園菜甫, 内山仁志, 杉山葉子, 石岡俊之	2018.9
8	肘関節周辺術後患者に対する筋電図バイオフィードバック療法の評価指標の再現性と信頼性の検討	共著	第52回日本作業療法学会(名古屋)	○高橋里奈, 佐野和史, 石岡俊之, 鈴木誠, 濱口豊太	2018.9
9	脳卒中後うつ症状患者には中性情報を選択する過程で脅威情報を処理する傾向がある	共著	第52回日本作業療法学会(名古屋)	○滝澤宏和, 小泉浩平, 石岡俊之, 鈴木誠, 濱口豊太	2018.9
10	定型発達児の行動観察によるEnd-state comfort effectに基づく行動の学習	共著	第42回日本神経心理学会(山形)	○石岡俊之, 飯田佐代子, 中村裕美, 濱口豊太	2018.10
11	橈骨遠位端骨折患者の早期運動回復を支援するAction Observation Therapy-Virtual Realityシステムの試用	共著	第12回日本作業療法研究学会学術大会(埼玉)	○薄木健吾, 石岡俊之, 成瀬康治, 鈴木誠, 濱口豊太	2018.10
12	肘関節周辺外傷術後患者に対する筋電図バイオフィードバック療法の効果	共著	第12回日本作業療法研究学会学術大会(埼玉)	○高橋里奈, 佐野和史, 木村和正, 秋山洋輔, 大関覚, 石岡俊之, 濱口豊太	2018.10
13	脳卒中患者における情動運動系の損傷の有無と抑うつ症状と注意バイアスの比較	共著	第12回日本作業療法研究学会学術大会(埼玉)	○滝澤宏和, 小泉浩平, 田山淳, 石岡俊之, 濱口豊太	2018.10
14	アルコール依存症者がアルコール画像へ注意を向ける行動は行動活性心理と相関する	共著	第12回日本作業療法研究学会学術大会(埼玉)	○天野良文, 滝澤宏和, 小泉浩平, 石岡俊之, 濱口豊太	2018.10
15	肘関節周辺外傷術後患者に対する筋出力制御を目的としたバイオフィードバック療法	共著	第31回日本肘関節学会(小樽)	○高橋里奈, 佐野和史, 木村和正, 秋山洋輔, 大関覚, 石岡俊之, 濱口豊太	2019.2
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名・研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		体内力源型能動義手使用者の基礎的な義手操作技能を評価する指標の開発(研究分担者)		2014.4-2019.3.
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		パーキンソン病の視覚性錯認知出現機序に関する神経心理学と脳科学による検証(研究代表者)		2017.4-2020.3.
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	スタートアップセミナー	2018.4-7	講義の分担およびe-learning教材作成を行った.		
2	作業療法学概論	2018.4-7.	科目分担者として高次脳機能の作業療法について1コマ講義を実施した.		
3	高次脳機能作業療法学	2018.10-11.	科目責任者として講義を実施した.		
4	高次脳機能作業療法評価学	2018.10-11.	科目責任者として講義を実施した.		
5	高次脳機能作業療法学特論	2018.10-11.	科目責任者として講義を実施した.		
6	作業療法ゼミナール	2018.10-2019.2.	ゼミ学生3名に対して実施した.		
7	職業関連技術学	2018.12-2019.2.	科目分担者として高次脳機能の職業関連作業療法評価について1コマ講義を実施した.		
8	行動神経作業療法学特論	2018.10-2019.2.	科目担当者として博士前期課程学生に講義を実施した.		
9	心身機能作業療法論	2018.10-2019.2.	科目担当者として博士後期課程学生に講義を実施した.		
(2) 演習					
1	高次脳機能作業療法学演習	2018.10-11.	科目責任者として講義を実施した.		
2	臨床作業療法演習	2018.10-2019.2.	教科書の執筆, および演習講義及びOSCE試験官を担当した.		
3	リハビリテーション学演習(行動神経作業療法学)	2018.4-2019.2.	科目担当者として博士前期課程学生に講義を実施した.		
4	心身機能作業療法演習	2018.4-2019.2.	科目担当者として博士後期課程学生に講義を実施した.		
(3) 実習					

1	臨地実習Ⅰ-1	2018.2.	科目担当者として中間訪問を実施した.
2	臨地実習Ⅱ-1	2018.4-7	科目担当者として中間訪問を実施した.
3	臨地実習Ⅱ-2	2018.4-7	科目担当者として中間訪問を実施した.
(4)論文指導			
1	博士前期課程	2018.4-2018.3.	副指導:4名
2	博士後期課程	2019.4-2019.3.	副指導:6名
(5)その他			
	特別研究論文審査	2018年度	副査:1名
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
			開催年月
1	作業療法神経科学研究会第11回研修会	作業療法神経科学研究会	画像所見のみかた～入門編～ 「臨床に役立つ脳画像の診かた」 「療士としての脳画像の使い方」
2	北里大学メディカルセンターリハビリテーション課主催講演会	作業療法神経科学研究会	北里大学メディカルセンターリハビリテーション課内講演として自研例を交えながら臨床の評価方法や実践の方法を講演した
3	品川区高次脳機能障害 サポーター養成講座	品川区、品川総合福祉センター	高次脳機能障害者 サポーター養成講座
4	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター主催勉強会	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター	高次脳機能障害者へのグループ訓練に対するスーパーバイザーとして参加
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	全国リハビリテーション学校協会	研修委員会委員	2014.4-2020.3
2	日本作業療法士協会	学術誌「作業療法」編集協力者	2017.4-2019.3
3	日本作業療法士協会	日本作業療法学会演題査読者	2017-2019
4	品川総合福祉センター	非常勤作業療法士	2018.4-2019.3
5	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター	非常勤作業療法士	2018.4-2019.4
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教育開発センター		
2	研究推進委員会		
3	個人情報管理責任者		
4	高等教育開発センター(仮称)準備委員会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	手指病態評価装置	特許第6375328号	2018.7
8. 特記事項			
1	第4回作業療法神経科学研究会学術集会を札幌にて会長として主催した.		